## (2) 細目工種

## (配管工事)

## 表 RE-1-1 【市】

	摘要	単位	材料								
細目			厚鋼 電線管 [m]	薄鋼 電線管 [m]	ねじなし 電線管 [m]	<sup>硬質ビニル</sup> 電線管 [m]	附属品	雑材料	電工 [人]	その他	備者
	16		LIII	LIII	LIII	LIII			0.060		
厚鋼電線管 (G)	22	m	1. 1				1式 (電線	1式 (材料	0.080	-	
	28		1. 1						0. 103		
	36								0. 124		
	42						線管価	料価格	0. 170		
	54						格 ×	格 ×	0. 229	•	
	70		1.05				0. 25	0.05	0. 266		
	82						$\smile$	)	0. 323		
	92								0.360		
	104								0.402		
薄鋼電線管 (C)	19	m					1式	1式	0.052		
	25			1. 1			電	<u></u>	0.070		
	31						線管	材 料 価 格	0.089	1式	
	39			1.05			線 管 価 格		0.109		
	51						×	×	0. 147		
	63						0. 25	0.05	0. 198		
	75						Ü	Ú	0. 231	174	
ねじなし 電線管 (E)	19	m					1式	(材料 (M価格 × (	0.042		
	25				1. 1		電		0.056		
	31						線管価		0.071		
	39				1.05		価 格		0.087		
	51						×		0.118		
	63						0.5	0.05	0. 159		
	75 16						1式		0. 185 0. 044		
	22					1. 1		1式	0. 044		
	44	ĺ				1. 1	電	++	0.054		

- (注) 1. 本表の電工の歩掛りは、隠ぺい又はコンクリート打込みの場合の歩掛りである。露出配管の場合は、電工の歩掛りを1.2倍し、そのうち、はり巻き配管等の場合で附属品を必要とするときには別途その費用を考慮する必要がある。
  - 2. 労務には、管の切断、ねじ切り(硬質ビニル電線管及びねじなし電線管は除く。)、曲げ、支持金具類の取付け、管内の清掃及び導通調べを含み、アウトレットボックスの取付けを含まない。

材料

価

0.05

0.064

0.086

0.108

0.130

0.162

0.194

線

**修管価** 

格 ×

0.3

1.05

- 3. 雑材料には、支持金具類のうち取付金具を含み、別途計上すべき支持材料は含まない。
- 4. 「その他」の率対象は、電工とする。

m

28

36

42

54

70

82

硬質ビニル

電線管

(VE)

※HIVE含む